

# 平成30年度 事業報告

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

## I 事業概要

平成30年度は、通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施した。

### 1. 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ① 愛玩動物飼養管理士などの指導者養成事業にかかる広報の拡大展開（ウェブ広告、雑誌、専門学校への周知、企業タイアップ、インフルエンサーの活用等）。
- ② 愛玩動物飼養管理士の活動実績等の顕彰制度として創設した上級愛玩動物飼養管理士制度の着実な運用。

### 2. 愛玩動物飼養管理士教育を補完する養成システムの総合的な体系づくりによる適正飼養の普及

- ① ペットオーナー検定の受験者の増加対策及び運用改善。
- ② 各種ペット関連団体を対象にした適正飼養の普及啓発活動推進のための支援事業。
- ③ 機関誌の内容の充実、図書館等の関係各所への機関誌の配置やイベント等での配布。
- ④ ペットの実践的飼育手法を教育する愛犬飼育スペシャリストの事業。
- ⑤ ペット共生住宅の整備及び管理運営方法の適正化を推進するための事業の推進と、ペット共生住宅管理士認定制度の準備。
- ⑥ 適正飼養の普及啓発指導を行うことができる人材を育成するための愛玩動物飼養管理士教育を補完する各種教育事業の検討。

### 3. 適正飼養の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織体制の整備

- ① 部課制に移行した事務局及び業務執行理事会を中心とした事務の執行体制の着実な運営。
- ② 業務の効率化・合理化を図るための事務所の整備、人材会社を利用した欠員補充のシステム化及び災害時等のリスク分散を図るための諸体制の検討。
- ③ 嘱託職員を配置した「支所」の運営と支所協力会員の募集・登録。

## II 業務内容

### 1. 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

#### 1-1 国及び地方自治体の事業への協力

##### (1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力

###### ① 動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターをスクール及び各都道府県の支所長等に配布し、動物愛護精神の高揚を図った。

###### ② 中央行事：どうぶつ愛護フェスティバル

平成30年9月15日（土）・22日（土）に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催による「動物愛護ふれあいフェスティバル」を「知っていますか？動物愛護管理法」のテーマのもとを開催した。

＜屋内行事：各団体表彰式、講演、パネルディスカッション（来場者83名）＞

9月15日（土）に台東区生涯学習センターミレニアムホールにおいて、各団体の表彰式、講演、パネルディスカッションを開催した。また、今年度は屋内行事の会場内でも本協会主催の全国ペット写真コンテスト入賞作品展を行った。

＜屋外行事：どうぶつ愛護フェスティバル（来場者約5千名）＞

9月22日（土）に東京都台東区上野恩賜公園内噴水池前広場において、次のように行事を実施した。

場所	内容
野外ステージ	動物愛護セレモニー、○×クイズ大会、タレント3名によるトークショー、犬のしつけ方教室、講演「地域猫ってなんだろう？」、芸大猫と地域との共生を考える会（東京藝術大学）によるコンサート、 ※「○×クイズ大会」については東京都支所が担当して実施。

場所	内容
パネル展示コーナー・中テント	動物愛護週間ポスター・コンクール入賞作品展、迷子札手作り体験コーナー、全国ペット写真コンテスト入賞作品展ほか ※全国ペット写真コンテストは本協会が実施。
ブース広場	災害対策コーナー、マイクロチップ啓発コーナー、ペット美容実演、動物相談コーナー、ペットフード等サンプリング、ブース出展者による各種展開、お絵描きコーナー、アニマルフォトスタジオほか
抽選コーナー	スタンプラリー

(2) 関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への協力

地方自治体が実施した講習会に、次のとおり本協会が講師等を派遣した。

自治体	日程	研修会、講習会の内容
千葉県千葉市	平成30年7月12日	犬のしつけ方教室（一般向け）
	平成30年12月13日	
	平成30年7月19日	猫の飼い方教室（一般向け）
	平成30年12月6日	
	平成30年11月22日	高齢犬の飼い方教室（一般向け）
北海道札幌市	平成30年9月28日	ペットの防災（一般向け）
福島県郡山市	平成30年9月29日	犬のしつけ方教室（一般向け）
兵庫県神戸市	平成30年11月8日	犬と猫の正しい飼い方（猫保護団体向け）
愛知県名古屋市	平成31年3月15日	ボランティアとしての心構え・接遇について（動物愛護推進員向け）

1-2 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

(1) 愛玩動物飼養管理士通信教育の実施

2級愛玩動物飼養管理士（38期）及び1級愛玩動物飼養管理士（34期）の通信教育を実施した。愛玩動物飼養管理士の平成30年度新規受講受験申込者数は9,545名であり、前年度比は99.7%（24名減少）、平成19年度比（最大受講受験者数との対比）は75.2%（3,149名減少）であった。

内訳は、個人での新規受講受験申込者数は3,520名で前年度比99.6%（14名減少）、企業からの団体新規受講受験申込者数は54名で前年度比78.3%（15名減少）、スクールからの団体新規受講受験申込者数は5,971名で前年度比100.1%（5名増加）であった。

級別新規申込者数		申込枠別の新規申込者数と全体の構成比		
申込級	新規申込者数	申込枠	新規申込者数	構成比 (%)
1級	1,444 (70)	個人申込	3,520 (1,062)	36.9% (58.8%)
2級	7,413 (1,690)	団体申込 企業	54 (1)	0.6% (0.1%)
準2級	688 (47)	団体申込 スクール	5,971 (744)	62.6% (41.2%)
計	9,545 (1,807)	計	9,545 (1,807)	100%

（カッコ内は夏期申込における新規申込者の内数）

## （2）平成30年度認定試験の実施（11月、2月）

春期申込の試験は11月25日（日）、一般会場34会場、独自会場13会場、夏期申込の試験は2月24日（日）、一般会場11会場、独自会場10会場で実施した。

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
1級	1,642 (230)	1,542 (194)	1,208 (129)	78.3
2級	8,584 (2,385)	7,901 (2,146)	6,389 (1,664)	80.9
準2級	735 (98)	724 (97)	515 (72)	71.1
計	10,961 (2,713)	10,167 (2,437)	8,112 (1,865)	79.8

（カッコ内は平成30年2月認定試験の内数）

## （3）愛玩動物飼養管理士養成制度の指定校・採用校、企業との協力

### ① 学校法人等との協力（指定校・採用校）

平成30年度の愛玩動物飼養管理士の新規の採用校は1校、新規の指定校は0校であり、結果として愛玩動物飼養管理士採用校は119校、このうち愛玩動物飼養管理士養成指定校は27校であった。

<新規の採用校>

さくら国際高等学校東京校

<参考：既存の指定校>

沖縄ペットワールド専門学校、学校法人穴吹学園穴吹動物専門学校、学校法人宮崎総合学院宮崎ペットワールド専門学校、河原アイペットワールド専門学校、京都動物専門学校、広島情報ビジネス専門学校、盛岡ペットワールド専門学校、群馬県立勢多農林高等学校、沖縄県立中部農林高等学校、学校法人吉田学園吉田学園動物看護専門学校、学

校法人大阪ビジネスカレッジ専門学校、学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校、国際ペットワールド専門学校、専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー、横浜トリミングスクール、学校法人東京愛犬大学園東京愛犬専門学校、学校法人高橋学園エス・ワン動物専門学校、学校法人孔明学園東北愛犬専門学院、群馬動物専門学校、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラー学園、ナンバペット美容学院、名古屋スクールオブビジネス、専門学校穴吹動物看護カレッジ、学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ、東京都立園芸高等学校、岡山理科大学附属高等学校

## ② 企業取りまとめによる受講受験申込

平成30年度は、次の9社より企業取りまとめによる受講受験申し込みがあった。

### <企業>

エコートレーディング株式会社、株式会社ジョイフルエーケー、株式会社 AHB、ジャペル株式会社、イオン九州株式会社、株式会社サンデー、株式会社ユーホー、株式会社エラスマモプランチ、あすも 25 合同会社

## (3) ペットオーナー検定

飼い主に対する初歩的教育及び愛玩動物飼養管理士への導入教育としての「ペットオーナー検定」を、インターネット上で時間・場所を選ばず受験可能にし、更なる受験便宜と受験件数の向上を図るとともに、運営コスト・労力を軽減する改善を平成30年6月から開始した。

平成30年度の受験者は379名（犬コース301名、猫コース227名、同時受験を含む）、テキストのみの購入者は96名であった。

なお、平成30年度のペットオーナー検定受験者379名における協会会員加入者数は72名であった。また、これまでのペットオーナー検定受験者における平成30年度2級愛玩動物飼養管理士への受講受験申し込み者数は183名であるなどの導入教育効果が認められた。

## (4) ペットの実践的な飼育方法の教育

愛玩動物飼養管理士教育を補完するため、ペットの実践的な飼育方法に関する教育を実施した。犬については、犬の飼育にあたって必要な実践的な方法を学ぶことができる「愛犬飼育スペシャリスト講座」を引き続き実施した。平成30年度の申込者数は978名であった。なお、受講生の募集や受付、教材の発送などの業務は委託方式で実施した。

また、犬以外の動物種については、機関誌を活用しながら教材作成の準備作業を行った。

## (5) ペット関連産業従事者の教育

社会全体としての適正飼養の確保及び推進を図るために、飼い主のみならず、「命あるものを取り扱うプロとしてのペット関連産業従事者」に対する普及教育も重要である。このため、ペット飼育に関する飼い主からの多種多様な問合せや相談に適確に対応できる広範な知識・情報を解説できるようにするための教材作成を引き続き進めた。現在、テキスト2冊を編集中であり、来年度上期までの完成を目指している。

## (6) 人と動物が共存する社会環境基盤整備

### ① 適正な飼育環境の整備

ペットの適正飼養を推進するためには住環境等の社会環境基盤整備を図ることも重要であることを踏まえ、愛玩動物飼養管理士教育の補完を図るために、ペット共生マンションなどの整備及び管理運営方法の適正化を推進するための『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』及び集合住宅向けの『飼い主のマナーハンドブック』の作成・頒布、ペット共生住宅の実現を目指す広がり（動き）を支援するための「ペットフレンドリーホーム宣言（人とペットの豊かな暮らし宣言）」の仕組みづくりの作業を行うとともに、平成30年5月より宣言の募集を開始した。宣言団体は現在のところ以下の13企業・団体となっている。

#### <宣言団体>

旭化成ホームズ株式会社、株式会社アドバンスネット、タマホーム株式会社、オニコ株式会社、積水ハウス株式会社 立川シャーウッド展示場、アニコム損害保険株式会社、ハウスリーフ株式会社、一般社団法人ペットライフデザイン協会、株式会社西武ペットケア、株式会社B-PLANNING、有限会社トヨミツ、株式会社アパートマン、株式会社クラスコ

### ②適正な飼育環境整備のための知識の普及

平成30年1月16日に東洋大学において「ペット共生住宅・マンションの適正化推進方策を考える」と題したシンポジウムを開催し、普及啓発の推進に努めた（参加者は約100名）。また、『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』、『飼い主のマナーハンドブック』、『ペット共生住宅管理士 理論と実践』の3冊をテキストとする「ペット共生住宅管理士」の開講に向けて準備を進めた。試験はオンライン方式で、2019年5月開講予定である。

### ③ ペットツーリズムにおける適正飼養の確保

ペット・ツーリズムにおける適正飼養の確保等を図るため、昨年度に引き続いで全国ペットツーリズム推進連絡協議会の事務局運営を行うとともに、大学における適正飼養の普及に関する寄附講座を実施した。

## (7) 愛玩動物飼養管理士認定委員会・教材等

### ① 教本の点検

内容の点検作業を行うとともに、平成31年度の教本を作成した。

### ② 課題報告問題・認定試験問題

内容の点検作業を行うとともに、平成30年度認定試験問題と平成31年度課題報告問題集・解答集を作成した。

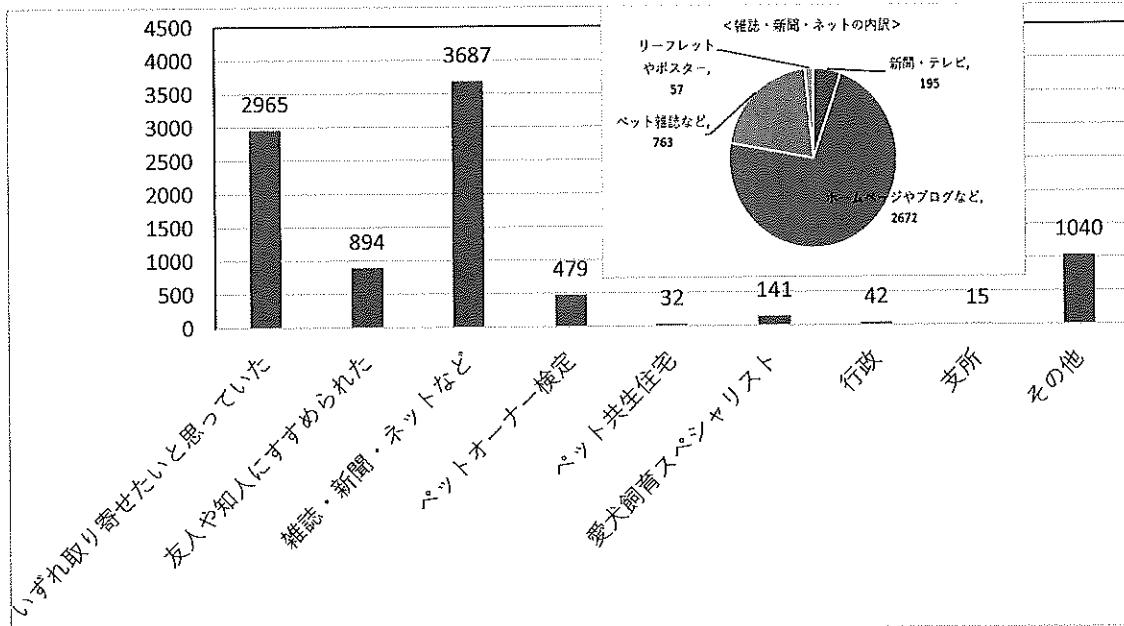
### ③ 教本の再編集作業等について

ペット飼育を取り巻く時代の変化や動物専門学校におけるニーズの変化等を踏まえた時宜を得た内容としていくため、平成29年12月より着手した教本の再編集作業を実施した。

## (8) 愛玩動物飼養管理士事業の広報

WEB広報としてのリストティング・ディスプレイ広告等によるSEO対策を実施した。また、新規の取り組みとしてインスタグラムなどのSNSにおけるインスタグラマーの活用による口コミ戦略の開始し、通信講座やスクールの紹介サイト「BrushUP学び」での広報、アニコム損害保険株式会社メールマガジン登録者（購読者約20万人）へのメールマガ配信等を行った。加えて、『いぬのきもち』『ねこのきもち』などのペット関連雑誌や建築関連の著名新聞と雑誌への広告掲載を実行とその他の雑誌や新聞などへの広告掲載を必要に応じて実施した。

平成30年度の受講受験者（2級・新規・一般）の募集要項の取り寄せのきっかけとなった広報媒体別の結果は、次のとおりであった。



#### (9) 動物愛護管理制度のあり方に関する検討

次の動物愛護管理条例の改正に向けて、適正飼養の普及啓発がより一層推進されるようにするための施策に関する関係機関との調整等を行った。また、動物看護師の国家資格化等の動きがあることから、愛玩動物飼養管理士制度の今後のあり方に関する検討に着手した。

#### (10) 上級愛玩動物飼養管理士の認定

ペットの適正飼養の普及啓発に関する実践的な活動の成果を顕彰するため、更新 116名と新規 3名の合計 119名を、上級愛玩動物飼養管理士に認定した（更新前は 203名）。

### 1-3 支所

#### (1) 支所活動

全国の 37 支所において、83 市区町村の関係自治体を中心（本部代行の静岡を除く）に、自主開催、その他団体等と協働し、各種の活動件数は 337 件に及ぶ適正飼養の普及啓発を行った。

#### (2) 支所長との意見交換会

平成 30 年 4 月 25 日（水）に福岡で、26 日（木）に大阪で、エリア別の支所長会議を開催した。福岡では九州エリアの支所長 2 名、大阪では関西エリアの支所長 5 名の出席のもとで、支所活動の現況および将来像に向けてのフリーディスカッションを行った。

#### (3) 支所検討会議

支所のあり方などについて管理士会または支部での活動経験がある本協会顧問 3 名と業務執行理事で検討するための会議を平成 30 年 10 月 1 日（月）及び 11 月 15 日（木）に開催した。

#### (4) 支所ブロック会議

前述の支所長との意見交換会で出された意見を踏まえ、愛玩動物飼養管理士活動の活性化推進方策および支所活動の運営改善について、全国の支所長と業務執行理事とで意見交換をするため、全国 5 都市（11/9（金）名古屋、11/10（土）大阪、11/11（日）福岡、11/16（金）東京、11/23（金）仙台）においてブロック会議を行った。

### (5) 支所長会議

平成30年12月20日（木）～21日（金）に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）において、30支所の支所長の出席のもとで支所長会議を開催した。管理士活動の推進方策、支所の運用改善、生体を伴っての活動のあり方等を議題とした。また、講演会「管理士の活動　まとめ役としてのあり方（講師：山崎いく子顧問）」とワークセッションを行った。

### (6) 支所協力会員のボランティア保険への加入

支所協力会員 1,578 名の加入手続きを行った。

## 1-4 調査研究及び情報の収集、提供

### (1) 閲覧室の蔵書の収集と提供

各種文献・学術論文等の収集と提供を行った。

## 1-5 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

### (1) 電話やメールによるペット飼養相談の受付

電話やメールなどによるペット飼養に関する相談への対応を 25 件行った。

### (2) 第38回全国ペット写真コンテストの開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第38回全国ペット写真コンテスト」を、環境省、（一社）ジャパンケネルクラブ、（一社）ペットフード協会の後援のもとで実施し、154点の応募作品（応募者数52名）より14点の入賞作品を審査会において選出した。

上位入賞者表彰式は9月15日（土）に中央行事屋内会場（台東区生涯学習センター ミレニアムホール）において行い、受賞者には、賞状及び副賞として賞金、入賞作品をプリントしたトートバッグを贈呈した。また、入賞作品は、屋内会場および9月22日（土）開催の屋外行事会場（上野恩賜公園内不忍池蓮池周辺）に展示した。

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
ペット大賞・環境大臣賞	笑顔の散歩道	蜂谷 純一	5万円

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
推選（ジャパンケネルクラブ賞）	散歩のお供	秋田 寿美	3万円
推選（ペットフード協会賞）	仲よし家族	宗俊 賴子	3万円
推選（日本愛玩動物協会賞）	仲良く順番に	太田 誠二	3万円

なお、過去の入賞作品パネルについては、全国の動物愛護週間行事で展示される等の活用が図られた。展示先は次のとおりである。

- ・東京都、鹿児島県、郡山市、栃木県支所、千葉県支所、滋賀県支所、兵庫県支所

#### 1-6 調査研究活動への助成

平成30年度助成対象事業（計2件、120万円）への助成を行った。

研究名	氏名	所属	金額
バーニーズマウンテンドッグの健康と福祉を目指す疾病アンケート調査	丸尾 幸嗣	ヤマザキ学園大学	50万円
感染症予防の観点からの愛玩鳥の適正飼養に関する調査	佐々 悠木子	東京農工大学	70万円

#### 1-7 機関誌等図書印刷物の刊行

##### （1）機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

機関誌（隔月発行）を作成して会員に配布するとともに、関係自治体や全国の図書館への寄贈を行った。なお、平成30年度の各号の特集テーマは次のとおりである。

号	テーマ
261号（5月号）	人と動物の関わりを考える＜後編＞
262号（7月号）	ハムスターの適正飼養
263号（9月号）	カメの適正飼養
264号（11月号）	ペット産業の現状と広がり
265号（1月号）	猫特集前編 猫を知る
266号（3月号）	猫特集後編 猫の適正飼養

##### （2）パンフレット等の作成、頒布

次のとおりパンフレット等を作成、頒布した。

種別	部数
愛玩動物飼養管理士・ペットオーナー検定告知ポスター	1,500 部
愛玩動物飼養管理士・ペットオーナー検定告知リーフレット	20,000 部
ペットオーナー検定告知チラシ	7,800 部
ウサギの飼い方	850 部
人と動物の防災を考えよう	12,200 部
いざというときのために ペットと被災したら	15,650 部
被災ペットの救護活動ガイドライン —ボランティア活動をされる皆様へ—	3,400 部
○×クイズ 緑 問題	4,300 部
○×クイズ 緑 答	4,000 部
○×クイズ 青 問題	700 部
○×クイズ 青 答	1,600 部
○×クイズ ピンク 問題	5,200 部
○×クイズ ピンク 答	3,900 部

### (3) 協会ホームページ

掲載情報の更新を随時行った。平成30年度の協会ホームページへのアクセスは、16万ユーザーであった。

### 1-8 会員

会員の新規募集及び継続入会の呼びかけを行った。平成31年3月末時点での一般会員数は、個人会員が11,668人（昨年度末より1,012人減少）、団体会員が26団体（昨年度末より13団体増加）であった。

なお、平成30年3月末時点での会員特典は次のとおりである。

概要	協力企業等
書籍の割引販売	株式会社インターブーム
もういちど学ぼうプロジェクトの割引受講	本協会
トリミング・ペットホテル料金の割引	株式会社西武ペットケア
「休暇村」の本館、コテージ、キャンプ場利用料の割引	休暇村協会

概要	協力企業等
全国のプリンスホテルの施設（ホテル・ゴルフ場・スキーチャーなど）の優待利用	プリンスホテル
年会費の税額控除	内閣府
富士急行株式会社関連施設利用料の割引	富士急行株式会社

### 1-9 寄付金

協会のホームページ等を利用して寄付金募集及び税額控除に関する書類の発行作業を実施した。

### 1-10 各種プロジェクト活動への支援

次のとおり、支援対象事業（計4件・約85万円）を決定し、支援を実施した。

団体名	所在地	分野	助成額
わうくらす	和歌山県海南市	飼い主教育・所有者明示・公衆衛生・災害時対策・ペットツーリズム・ペットとのふれあい・その他	300,000円
ナチュラルドッグスタイル	東京都港区	ペットとのふれあい	299,315円
異ボランティア	広島県廿日市市	飼い主教育・所有者明示・公衆衛生・災害時対策・その他	100,000円
チーム上尾	埼玉県上尾市	飼い主教育・所有者明示・公衆衛生・災害時対策・ペットツーリズム	154,000円

## 2. その他本協会の目的を達成するために行った事項

### (1) 関係団体との情報交換等の実施

関係団体と適正飼養の普及啓発事業に関する情報の交換を行った。

### (2) 「第30回日本動物児童文学賞」への審査協力

(公社) 日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞に対して、本協会から役員が審査員として協力した。

### (3) 平成30年7月豪雨災害で被災したペットとその飼い主のための支援活動

集中豪雨による災害が西日本の各地で発生したため、一般財団法人ペット災害対策推進協会（ペット災対協）による寄附金募集に協力した。

### (4) 協会が関係する外部会議及び行事

#### ① 理事及び職員

会議等の名称	関係者・出席者
東京都動物愛護管理審議会	協会本部役員
動物愛護週間中央行事実行委員会	協会本部役員・職員
東京都動物愛護推進協議会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会総会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会 2018 動物感謝デー企画検討委員会	協会本部役員・職員
関係各党・団体の各種意見交換会	協会本部役員
各指定校の評議員会等	協会本部役員
環境省中央環境審議会動物愛護部会	協会本部役員
(一社) 静岡県動物保護協会理事会・総会	協会本部職員
マスコミ取材対応等	協会本部役員・職員

#### ② 支所長

会議等の名称	関係者・出席者
吉田学園動物看護専門学校文化・教養分野教育課程編成委員会および学校関係者評価委員会	関係支所長
(公財) 千葉県動物保護管理協会評議員会	関係支所長

会議等の名称	関係者・出席者
動物愛護週間中央行事実行委員会	関係支所長
岡山理科大学専門学校 学校関係者評価委員会	関係支所長
各都道府県等の愛護関係推進協議会	各支所長
関係団体の各種意見交換会	各支所長
マスコミ取材対応等	各支所長

(5) 各種行事への後援等

名称	開催時期	開催地	主催
第 80 回チャボ全国品評会	平成 30 年 4 月 15 日	東京都	全日本チャボ保存協会
第 18 回 りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル 2018	平成 30 年 6 月 10 日、9 月 30 日	兵庫県	公益社団法人 Knots
WJVF 第 9 回大会	平成 30 年 7 月 13 日～15 日	大阪府	(一社) 日本臨床獣医学フォーラム・(公社) 日本動物病院協会
軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクト	平成 30 年 8 月 1 日	長野県	一般社団法人軽井沢観光協会
平成 30 年度 動物愛護の絵・ポスター募集	平成 30 年 9 月 20 日～26 日	三重県	三重県
平成 30 年度 動物愛護週間行事（沖縄県）	平成 30 年 9 月 20 日～26 日	沖縄県	沖縄県
動物愛護フェスティバル 2018 イン小諸	平成 30 年 9 月 23 日	長野県	動物愛護フェスティバル 2018 イン小諸実行委員会
日本身体障害者補助犬学会 第 11 回学術大会	平成 30 年 10 月 6 日～7 日	千葉県	日本身体障害者補助犬学会
平成 30 年度 設立 40 周年記念年次大会	平成 30 年 10 月 6 日～7 日	東京都	公益社団法人日本動物病院協会
第 7 回ペットとの共生推進協議会シンポジウム	平成 30 年 10 月 8 日	東京都	ペットとの共生推進協議会

名称	開催時期	開催地	主催
動物介在プログラム 基礎講習会	平成 30 年 10 月 13 日～14 日	東京都	一般社団法人優良家庭犬普及協会
一般公開講習会	平成 30 年 10 月 28 日	滋賀県	公益社団法人滋賀県獣医師会
災害時におけるペットの同行避難	平成 30 年 11 月 4 日	和歌山県	和歌山動物愛護推進実行委員会
2018 動物感謝デー	平成 30 年 12 月 1 日	東京都	公益社団法人日本獣医師会
平成 30 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（神奈川）	平成 31 年 2 月 8 日～10 日	神奈川県	公益社団法人日本獣医師会
ちよだ猫まつり 2019	平成 31 年 2 月 16 日～17 日	東京都	ちよだ猫まつり実行委員会
平成 30 年度千葉県獣医師会獣医学術年次大会	平成 31 年 3 月 10 日	千葉県	公益社団法人千葉県獣医師会
インターペット 2019	平成 31 年 3 月 28 日～31 日	東京都	一般社団法人ペットフード協会／一般社団法人日本ペット用品工業会／メッセフランクフルトジャパン株式会社

#### (6) 受賞

本協会の役職員等に対する賞の授与はなし。

### 3. 組織、会員、会議等

#### 3-1 組織（平成31年3月31日現在）

##### （1）役員

役員 (13名)	代表理事(1名)	会長	東海林克彦
	業務執行理事 (3名)	副会長	安部正弘
		常務理事	水口修、武田和彦
	理事(7名)		浅野明子、荒井延明、池田毅、崎田克康、対馬美香子、林谷秀樹、平山淳
	監事(2名)		岡崎留美、藤澤省二

##### （2）相談役、顧問

相談役(4名)	經德禮文、鈴木松衛、西村尚一、椎野雅博
顧問(15名)	北村直人、猪俣治太郎、臼井玲子、内田美由紀、大島誠之助、川口和清、斎藤久美子、實藤憲正、鈴木 登、天川九二夫、花澤公子、畠山雅子、福田真由美、山崎いく子、山田広美

##### （3）委員会

###### ① 愛玩動物飼養管理士認定委員会委員

委員長 林谷秀樹

委 員 荒井延明、臼井玲子、宇山理奈、大島誠之助、四宮勝之、対馬美香子、山崎恵子

###### ② 実践的飼育方法教育委員会委員

委員長 林谷秀樹

委 員 臼井玲子、藤井仁美

###### ③ 調査研究助成委員会委員

(委員名は非公開)

(4) 役職員数

(単位:名)

区分	年度当初	増加	減少	3月末時点
役員(常勤)	2	0	0	2
職員	6	4	2	8
計	8	4	2	10

<その他の職員>

※ 本部:派遣職員1名(増減なし)

※ 支所:嘱託職員36名(37支所に対して静岡の1名は本部職員が代行中)

(5) 支所の設置状況

7ブロック	支 所 名
北海道・東北(5)	北海道、青森県、宮城県、秋田県、福島県
関東(7)	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・信越(4)	富山県、石川県、福井県、長野県
中部(4)	山梨県、愛知県、三重県、静岡県(本部代行中)
近畿(5)	滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国(7)	鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄(5)	福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計	37支所
(注)未設置(9):岩手県、山形県、新潟県、岐阜県、島根県、山口県、佐賀県、熊本県、大分県	
休止(1):京都府	

3-2 会員（平成31年3月31日現在）

会員数		(単位：人・団体数)	
		平成29年度末	平成30年度末
正会員	個人	80	76
	団体	10	9
個人一般会員		12,680	11,668
団体一般会員		13	26
名誉会員		1	0
合計		12,784	11,779

3-3 会議の開催状況

① 社員総会

会議名	開催日	審議事項
平成30年度定時社員総会	平成30年6月15日（金）	平成29年度事業報告の件、平成29年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の件、定款の一部変更の件、役員報酬等の総額の件、理事及び監事の選任の件

② 理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回定期理事会	平成30年5月28日（月）	平成29年度事業報告及び決算、定款の改正及び諸規程の改正、理事に対する報酬等の総額、社員総会の開催、役職員人事及び正会員入会、事務局の組織・運営体制
第2回定期理事会	平成30年6月15日（金）	役職理事の選定、認定委員の選任等

会議名	開催日	審議事項
第3回定例理事会	平成30年9月3日（月）	代行順序の決定、愛玩動物飼養管理士教本の再編集等、愛玩動物飼養管理士認定規則等の改正、愛玩動物飼養管理士活動及び支所のあり方、各種事業の進捗状況（愛玩動物飼養管理士、ペットオーナー検定、愛犬飼育スペシャリスト、ペット共生住宅適正化推進事業など）、正会員の扱い、理事へのスクーリング講師依頼、愛玩動物飼養管理士の認定及び調査研究助成の追認
第4回定例理事会	平成30年11月22日（木）	上半期の事業報告及び決算等、業務執行報告、指定校規程の改正。愛玩動物飼養管理士活動の活性化方策
第5回定例理事会	平成31年1月29日（火）	愛玩動物飼養管理士認定試験（11月）の合格者の決定、調査研究助成の決定、平成31年度事業計画及び予算、連携団体の認定規程等
第6回定例理事会	平成31年3月26日（火）	平成31年度事業計画及び予算、平成31年度適正飼養推進プロジェクト支援、管理士認定試験（平成30年2月）の合格者の決定、平成31年度の定期総会の開催及び役員報酬等の総額、指定校規程等の改正、特定資産

③ 業務執行理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回業務執行理事会	平成30年5月7日（月）	平成29年度事業報告及び決算、定款及び規程の改正等、次期の役職員人事、第1回理事会の議事、平成30年度予算に対する内閣府指導、認定試験の監督依頼、管理士教本再編集・ペット共生住宅適正化推進プロジェクトの進捗状況、職員異動
第2回業務執行理事会	平成30年6月15日（金）	夏期賞与、業務執行理事会等の開催予定
第3回業務執行理事会	平成30年7月26日（木）	愛玩動物飼養管理士教本の再編集、支所のあり方、上級愛玩動物飼養管理士の更新認定等
第4回業務執行理事会	平成30年8月21日（火）	愛玩動物飼養管理士教本の再編集、支所のあり方
第5回業務執行理事会	平成30年8月28日（火）	支所のあり方、スクーリング制度の改善、愛玩動物飼養管理士の受講受験料の価格
第6回業務執行理事会	平成30年9月21日（金）	支所のあり方、管理士教本の再編集等
第7回業務執行理事会	平成30年10月19日（金）	中間決算報告について、支所活動の運用改善、管理士教本の再編集等
第8回業務執行理事会	平成30年12月6日（木）	管理士活動の活性化推進方策、冬期賞与
第9回業務執行理事会	平成31年2月5日（金）	平成30年度決算の見込み、平成31年度の事業計画及び予算の基本的考え方、特定資産、適正飼養推進プロジェクト支援

会議名	開催日	審議事項
第 10 回業務執行理事会	平成 31 年 3 月 11 日（月）	平成 30 年度決算の見込み、平成 31 年度事業計画及び予算、平成 31 年度適正飼養推進プロジェクト支援、管理士認定試験（平成 30 年 2 月）の合格者の決定、平成 31 年度の定期総会の開催及び役員報酬等の総額、特定資産、諸規程の改正、次回の理事会の議題
第 11 回業務執行理事会	平成 31 年 3 月 26 日（火）	役員報酬等について

④ 各種委員会

委員会名	開催日	審議事項
愛玩動物飼養管理士認定委員会	第 1 回 平成 30 年 7 月 2 日（月）	教本の点検＜答申＞、課題報告問題及び解答集の作成＜諮問＞
	第 2 回 平成 30 年 10 月 4 日（木）	新教本の制作に関わる今後のスケジュールの確認、スクーリング制度の改善についての検討
	第 3 回 平成 30 年 11 月 29 日（木）	認定試験（11 月）の合格者の決定＜諮問・答申＞、課題報告問題及び解答集の作成＜答申＞、認定試験問題の点検＜答申＞
	第 4 回 平成 31 年 2 月 28 日（木）	試験問題（2 月）の合格者の決定＜諮問・答申＞、試験問題の点検＜答申＞、新教本の点検＜諮問＞
調査研究助成委員会	第 1 回 平成 30 年 12 月 3 日（月）	助成申請者審査会の実施

以 上

